

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 19 日

評価対象事業	健福 - 24	高齢者活動運営事業	☐ 法定受託事務
所管課	健康福祉部 高齢者支援課		評価者 高齢者支援課長 寺山 明
一般	会計	款 15	項 5
総合計画上の位置付け	分野名	健康福祉	施策の方針名 多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	高齢者	意図	高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援し、福祉の向上を図るため。
効果	高齢者の健康維持や介護予防が図られ、長寿を喜ぶとともに、公的年金を受給できない外国籍市民の福祉を増進する。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	敬老祝事業、外出支援施策、老人クラブの活動支援、外国籍高齢者福祉給付金の実施	敬老祝事業、外出支援施策、老人クラブの活動支援、外国籍高齢者福祉給付金の実施	敬老祝事業、外出支援施策、老人クラブの活動支援、外国籍高齢者福祉給付金の実施
予算額（千円）	38,963	25,911	
国県支出金	1,346	1,346	
地方債			
その他	2,620	2,620	
一般財源	34,997	21,945	0
当初人員配置数	12.0	12.0	0.0
人件費（千円）	95,288	83,892	0
事業実績	敬老祝事業、外出支援施策、老人クラブの活動支援の実施		
決算額（千円）	20,577		
国県支出金	1,185		
地方債			
その他	2,528		
一般財源	16,864	0	0
人員配置実績数	13.0	0.0	0.0
人件費（千円）	93,875	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値		目標値 目指す方向	R7	R8	R9
							(上段実績、下段経費（千円）)		
活1	指標名	敬老祝品の贈呈 発送件数	件	1,477	⇒		1,492		
	実績につながる活動	敬老祝事業における祝品の手配、発送					1,645		
活2	指標名	外国籍高齢者福祉給付金 支給件数	件	0	－		0		
	実績につながる活動	外国籍高齢者福祉給付金の支給					0		
活3	指標名	高齢者入浴助成事業委託 入浴助成券利用枚数	枚	45,084	↗		39,630		
	実績につながる活動	高齢者入浴助成事業					9,735		
活4	指標名	高齢者生きがいづくり事業 デイ銭湯 実施回数	回	60	⇒		60		
	実績につながる活動	デイ銭湯事業委託、多世代交流事業					3,401		
活5	指標名	老人クラブ連合会の会報 市内配布箇所数	箇所	17	↗		17		
	実績につながる活動	老人クラブ活動助成事業で運営費を補助					3,141		
活6	指標名	運転免許証返納者支援事業負担金 助成券交付件数	件	835	↗		884		
	実績につながる活動	運転免許証返納者支援事業の実施					1,111		
活7	指標名	福寿カード 協賛店舗数	店舗	58	↗		58		
	実績につながる活動	福寿優待サービス事業の実施					0		
活8	指標名	地域貢献送迎バスモデル事業 実施施設数	施設	3	↗		3		
	実績につながる活動	地域貢献送迎バスモデル事業の実施					256		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・老人クラブ連合会を脱退した団体が4団体あった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・外出支援策や生きがいづくり支援策の周知を行うとともに、減少傾向にある事業については、ニーズの把握を行う必要がある。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
					実績			
成1	高齢者生きがいづくり事業 デイ銭湯参加者数	人	532	↗	431			4
成2	老人クラブ連合会の会員数	人	2,242	↗	2,032			5
成3	高齢者バス割引乗車証購入費助成制度に申請して外出の頻度が増えた人の割合	%	－	↗	74.20%			6 7 8

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・成果（活動による直接アウトカム）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・経済的な理由で外出を控えていた市民の外出を促した。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・外出支援策の充実が図られている。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☒ 増えている ☐ 変わらない ☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☐ 市 ☐ 国・県 ☒ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分にしている ☒ 概ね出ている ☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある ☒ なし
		関連・類似事業との統合	☒ できる ☐ できない
公平性	受益者負担	☒ 導入済 ☐ 導入予定 ☐ 導入できない	
方向性	評価実施年度の方向性 ⇒		評価実施翌年度以降の方向性
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ ① 事業内容は現状通りとする ☐ 事業内容は見直し済 ⇒ ☒ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ その他 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ 他事業と統合済 ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☒ ④ 予算規模は現状維持とする ☐ 予算規模は拡大済 ⇒ ☐ ⑤ 予算規模は拡大する ☐ 予算規模を縮小済 ☐ ⑥ 予算規模は縮小する	
今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容
	前年度の新たな課題への対応結果	未解決	・公衆浴場が減り、公衆浴場を活用した外出支援策に偏りが生じている。
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たな課題あり	・バスの減便等により、バス利用による外出促進策についても、地域によっては活用しにくい状況にある。
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新規事業の必要性はない	・既存事業の効果測定等行いながら、既存事業の見直しや新規事業の検討を行う。
総評	高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援することは健康維持や介護予防に有効であり、今後も継続して事業を実施する必要がある。令和7年度から、原則70歳以上で非課税世帯に属する高齢者を対象として、高齢者向けバス割引乗車証の購入費助成事業を実施し、外出支援策を拡充した。効果測定など行いながら、よりよい施策の実施に取り組んでいく。		上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	高齢者入浴助成事業実施状況（令和8年4月1日時点）								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	自己負担 300円 (72枚)	自己負担 320円 (中学生以上)	自己負担 630円 (R8.4.30終了)	—	—	自己負担 なし (48枚)	—	自己負担 200円 (72枚)	—
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	高齢者の健康増進やコミュニケーションを向上させる手段として、公衆浴場入浴料の助成は有効であり、自己負担額も適正であると考えられるが、他市では複数あるサービスのひとつとして実施しているところもあることから、本事業の実施方法等について今後検討していく必要がある。								